

## 三重県の認知症対策について

三重県健康福祉部  
長寿社会室  
平成20年7月29日

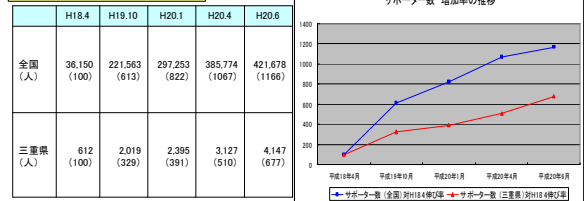
## 認知症サポーターの養成(1)

### ●取組状況は低調

人口データは平成19年10月現在  
サポーター数は平成20年6月15日現在

	人口(a) 千人	高齢者人口(b) 千人	高齢化率 %	サポーター数(c) 人	c/a %	c/b %
全国	127,053	26,675	21.0	421,678	0.33	1.58
三重	1,857	416	22.4	4,147	0.22	1.00

### ●サポーター増加率の推移



表中の下段( )は、平成18年4月を100とした指数。

## 認知症サポーターの養成(2)

●下記の取組を進め、21年度中に1.5万人(※)のサポーター養成が目標  
(※)全国で100万人養成が目標のため、人口比率から県の目標として1.5万人に設定

①県職員を対象にした講座の開催 ~職員も地域住民の一人~

平成19年度1回開催。平成20年度は人権研修を活用。

②みえ出前トーク ~住民の要望を受け、職員が地域に向き、講座を開催~

認知症サポーター養成講座を積極的にPR

③キッズサポーターの養成 ~小中学校の要望を受け、講座の開催をコーディネート~

④市町と協働した講座の開催 ~市町の要望を受け、市町と共に講座を開催~

⑤企業への働きかけ ~CSR(企業の社会的責任)への取組みの一環として~

## 認知症サポーターの養成(3)

### 子ども向け認知症講座(認知症キッズサポーター養成講座)

認知症を理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で“見守る”、子どものサポーター(キッズサポーター)を養成。  
小中学校に総合学習等の一環として、講座の開催について協力を要請。

キッズサポーターになるためには、子ども向け認知症講座を受けることが必要。  
県では、小中学校の要望に応じて、講座の手配を行なう。

### 【子ども向け認知症講座(認知症キッズサポーター養成講座)】

講師:キャラバン・メイト(認知症サポーター養成講座の講師として研修を受けた者)  
時間:1時間程度  
内容:「認知症ってなに?」「私たちには何ができるかな」など

報道発表や講演等を通じ、学校の取組を積極的にPR  
教員向けの教員にむけた講座も要望に応じて行なう。

## 認知症サポーターの養成(4)

### 市町と協働した講座等の開催

#### キャラバン・メイト養成研修

	東員町・菟野町	津市・鈴鹿市	明和町・度会町	尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町
開催日	9月24日	8月23日	7月13日	9月27日
場所	東員町役場	河益総合支所	度会町役場	くまのふれあいセンター

#### 認知症サポーター養成講座

	東員町・菟野町	津市・鈴鹿市	明和町・度会町	尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町
開催日	10月14日	10月31日	9月16日	10月~11月(2回実施)
場所	菟野町けやきホール	鈴鹿市すこやかホール	明和町中央公民館	未定

## 認知症疾患医療センターの創設

●老人性認知症疾患センター事業(H1~H18)の課題  
各施設の機能のばらつき、地域における関係諸機関の連携の中心として十分な機能を果たしていない

### H20年度 認知症の専門的医療の提供体制を強化するため「認知症疾患医療センター運営事業」の創設

#### 設置基準 専門医療機関としての機能

専門医療相談が実施できる専門の部門の配置  
人員(専門医療を行なえる医師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等)  
検査体制の充実  
急性精神症状、身体合併症への対応

#### 地域連携の機能

医療連携協議会、研修会の実施、情報センター機能

21年度以降、現在の老人性認知症センター(4箇所)を認知症疾患医療センターへ移行する方向で調整中。